

2 家畜衛生対策事業

各種疾病による家畜の損耗防止と生産性の向上を図るため、会議の開催、情報収集と広報、検査・指導等を実施。

(1) 監視体制整備事業

ア 家畜伝染病防疫対応強化

飼養衛生管理の向上を図るため、会議・研修会や農場巡回により衛生管理を指導。

実施内容	実施回数	出席人数/ 実施農場数	対象
地域推進会議	6回	267名	市町、農協、獣医師
衛生管理指導	—	566農場	畜産農家への立入検査 (乳用牛：177農場、肉用牛：248農場 豚：53農場、家きん：79農場、 その他：9農場)

イ 家畜衛生関連情報整備

家畜衛生対策及び疾病発生状況等の情報を収集・分析するとともに、農家へ情報を提供。

実施内容	実施件数	備考
情報の収集	86(件)	家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報の収集
家畜衛生情報提供	43(回)	家畜衛生に関する対策及び疾病の発生状況等の情報の提供

ウ 疾病検査精度管理推進

適正な精度管理体制の構築による検査技術及び検査結果への信頼性の向上を図ることを目的として、診断用検査機器の定期的な校正を推進するため資器材の整備、精度管理に係る講習会等の開催及び検査業務管理要領、標準作業書を策定。

(ア) 資器材の整備及び目的

- リアルタイムPCR検査機器用キャリブレーション用品
(ヨーネ病、鳥インフルエンザ検査等)
- 分銅(マイクロピペット検定用)

(イ) 講習会等

講習会名	開催日	参集範囲	人数
第1回病性鑑定担当者会議	H28.4.14(木)	畜産振興課、各家保病性鑑定担当者	18名
第2回病性鑑定担当者会議	H28.7.8(金)	畜産振興課、各家保病性鑑定担当者	16名
精度管理体制の確立に向けたスキルアップセミナー	H28.10.20(木)	畜産振興課、各家保病性鑑定担当者	22名

(ウ) 監視伝染病の検査業務管理要領及び標準作業書(SOP)の策定

対象：ヨーネ病遺伝子検査、鳥インフルエンザELISA検査及び遺伝性検査

エ 診断予防技術向上対策事業

近年問題となっている家畜の伝染性疾病の迅速診断法の開発を進めるために必要な調査、検査を実施。

疾病名	畜種	実施戸数	検体数	実施内容
ヨーネ病	牛	1	197	プール糞便によるヨーネ病スクリーニング遺伝子検査法の野外実証試験

(2) まん延防止円滑化対策

特定家畜伝染病に関する連絡会議及び防疫演習の実施協力。

実施内容	回数	出席人数	備考
口蹄疫・鳥インフルエンザ対策連絡会議	7	246	各農業振興事務所主催 市町、関係機関、関係団体
鳥インフルエンザ防疫演習(地域)	4(地域)※ 1(県)	320※ 136	机上演習及び実地演習(農場防疫作業及び消毒ポイント作業等)

(3) 慢性疾病等生産性阻害疾病対策

生産性阻害が顕著な農場に対し、調査・検査を行い、発生動向を把握。得られた成績をもとに、対策を検討するとともに、疾病防疫マニュアル作成の基礎とする。

疾病名	畜種	調査戸数	調査頭羽数	実施内容
下痢症 (牛サルモネラ症)	牛	1	275	発生農場に対し、発症牛の隔離・治療、飼養牛全頭への生菌剤投与、乾乳牛全頭への抗菌性物質投与、畜舎や出入り車両の徹底消毒を指導したことにより、対策後に発生は収束し、環境中から本菌は分離されなくなった。
ウイルス性疾病 (PRRS)	豚	1	2,200	口腔液を用いて検査をすることで農場内のウイルスの動きを把握。結果をもとに、遺伝子が検出された肥育舎のオールアウト、洗浄・消毒の徹底、空舎期間の延長を指導した結果、本病遺伝子は検出されなくなった。

(4) 畜産物安全性確保対策

ア 生産衛生管理体制整備事業

畜産物の安全性の確保を図るため、生産現場に HACCP 方式に基づく飼養管理方式を導入するために必要な検査、指導を実施した。

区分	戸数	対象項目	実施内容
養豚農家	4	農場 HACCP 構築の指導	定期的に各農場における情報の分析及び衛生管理システムの見直し等について指導するとともに、関係者を集めた推進会議(14回)を実施した。

イ 動物用医薬品危機管理対策

(7) 動物用医薬品の品質検査・指導

流通段階にある不適正な動物用医薬品を排除し動物用医薬品の品質確保を図るため、動物用医薬品等販売業者への立入検査・指導、医薬品の収去・品質確保検査を実施した。

販売業者 店舗数	立入検査・指導		品質確保検査
	対象店舗数	実施店舗数	
110	117	57	医薬品の収去：県央家保1品目 (収去品目：等張糖加リンゲル液「KS」) 検査場所：家畜衛生研究部 検査結果：規格範囲内

(i) 動物用医薬品使用実態調査

動物用医薬品の使用の規制に関する省令に基づく動物用医薬品の畜産物への残留防止を図るため、養豚農家2戸、採卵鶏飼養農家1戸及び乳用牛飼養農家1戸の計4戸について動物用医薬品の使用状況等の実態調査を実施した。各農家とも休薬期間を厳守しており、問題はなかった。

(ウ) 薬剤耐性菌の発現状況調査

人と動物の健康に対するリスク分析の基礎資料とするために、薬剤耐性菌の発現状況について調査した。

対象菌種	対象家畜	対象農家数	検体数	検査株数	実施内容	備考
サルモネラ	牛・豚	3戸 (2戸)	6検体 (4検体)	6株 (4株)	各種生化学性状検査及び 薬剤感受性試験を実施。	() 管内分
黄色ブドウ球菌	牛・豚 鶏	6戸 (0戸)	9検体 (0検体)	9株 (0株)		